

## 2 卸売業の状況

### (1) 業種別 (図8)

卸売業を産業分類小分類別に見ると、事業所数は農畜産物・水産物卸売業が1,527事業所(構成比15.7%)と最も多く、以下建築材料卸売業1,518事業所(同15.6%)、食料・飲料卸売業1,214事業所(同12.5%)の順であり、この3業種で卸売業全体の43.8%を占めている。

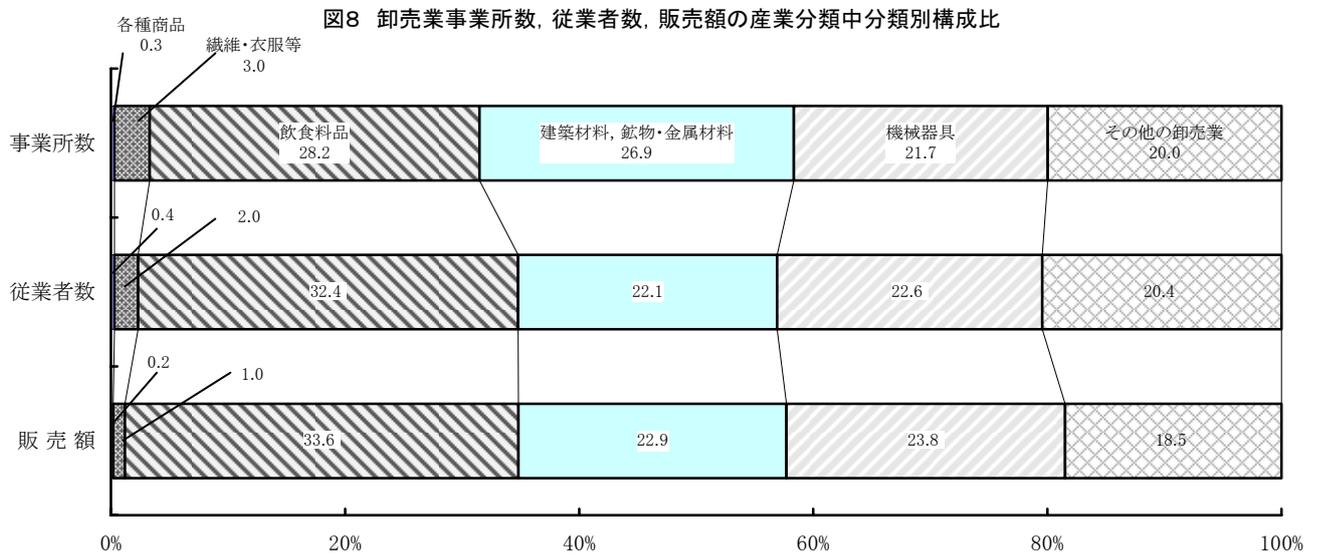
これを増減率で見ると、増加したのはその他の機械器具卸売業9.5%(26事業所)、他に分類されない卸売業2.0%(21事業所)の6業種であり、減少したのは衣服・身の回り品卸売業 $\Delta$ 5.1%( $\Delta$ 14事業所)、化学製品卸売業 $\Delta$ 4.1%( $\Delta$ 14事業所)、建築材料卸売業 $\Delta$ 3.8%( $\Delta$ 60事業所)等9業種であった。

従業者数は農畜産物・水産物卸売業が1万4,691人(構成比16.9%)と最も多く、以下食料・飲料卸売業1万3,400人(同15.5%)、建築材料卸売業1万50人(同11.6%)の順であり、この3業種で卸売業全体の44.0%を占めている。

これを増減率で見ると、増加したのはその他の機械器具卸売業15.0%(321人)等3業種であり、減少したのは各種商品卸売業 $\Delta$ 16.8%( $\Delta$ 57人)、化学製品卸売業 $\Delta$ 13.2%( $\Delta$ 349人)、建築材料卸売業 $\Delta$ 10.4%( $\Delta$ 1,172人)等13業種であった。

販売額は農畜産物・水産物卸売業が1兆1,178億円(構成比18.2%)と最も多く、以下食料・飲料卸売業9,495億円(同15.4%)、建築材料卸売業6,496億円(同10.6%)の順であり、この3業種で卸売業全体の44.2%を占めている。

これを増減率で見ると、増加したのは再生資源卸売業13.7%(58億円)、繊維品卸売業11.1%(2億円)、自動車卸売業10.3%(465億円)等7業種であり、減少したのは、一般機械器具卸売業 $\Delta$ 20.4%( $\Delta$ 825億円)、食料・飲料卸売業 $\Delta$ 18.1%(2,103億円)、電気機械器具卸売業 $\Delta$ 15.5%( $\Delta$ 918億円)等8業種であった。



(2) 経営組織別 (表5)

ア 法人事業所

卸売業の法人事業所を産業分類小分類別に見ると、事業所数は建築材料卸売業が 1,264 事業所 (構成比 15.6%) と最も多く、以下農畜産物・水産物卸売業 1,147 事業所 (同 14.2%)、食料・飲料卸売業 974 事業所 (同 12.0%) の順であった。

イ 個人事業所

卸売業の個人事業所を産業分類小分類別に見ると、事業所数は農畜産物・水産物卸売業が 380 事業所 (構成比 23.6%) と最も多く、以下建築材料卸売業 254 事業所 (同 15.8%)、食料・飲料卸売業 240 事業所 (同 14.9%) の順であった。

産業分類	法人					個人				
	事業所数	構成比	従業者数	年間商品販売額	売場面積	事業所数	構成比	従業者数	年間商品販売額	売場面積
		%	人	万円	m <sup>2</sup>		%	人	万円	m <sup>2</sup>
卸売業計	8,102	100.0	82,158	609,365,734	-	1,610	100.0	4,562	6,112,888	-
491 各種商品卸売業	32	0.4	280	1,327,916	-	1	0.1	2	2,017	-
501 繊維品卸売業(衣服、身の回り品を除く)	17	0.2	61	161,654	-	9	0.6	26	36,589	-
502 衣服・身の回り品卸売業	210	2.6	1,544	5,890,643	-	52	3.2	118	116,743	-
511 農畜産物・水産物卸売業	1,147	14.2	13,363	109,559,569	-	380	23.6	1,328	2,221,341	-
512 食料・飲料卸売業	974	12.0	12,761	94,293,552	-	240	14.9	639	654,800	-
521 建築材料卸売業	1,264	15.6	9,388	63,949,628	-	254	15.8	662	1,005,459	-
522 化学製品卸売業	314	3.9	2,260	18,651,211	-	14	0.9	35	75,288	-
523 鉱物・金属材料卸売業	446	5.5	4,796	52,136,383	-	28	1.7	92	194,301	-
524 再生資源卸売業	174	2.1	1,732	4,609,975	-	113	7.0	266	152,671	-
531 一般機械器具卸売業	671	8.3	5,895	32,157,975	-	44	2.7	105	108,306	-
532 自動車卸売業	468	5.8	4,805	49,678,231	-	80	5.0	204	292,887	-
533 電気機械器具卸売業	524	6.5	6,151	50,171,783	-	17	1.1	46	79,332	-
539 その他の機械器具卸売業	282	3.5	2,419	14,173,054	-	17	1.1	35	46,710	-
541 家具・建具・じゅう器等卸売業	307	3.8	2,491	11,813,188	-	74	4.6	199	196,397	-
542 医薬品・化粧品等卸売業	357	4.4	5,243	49,036,515	-	105	6.5	341	346,483	-
549 他に分類されない卸売業	915	11.3	8,969	51,754,457	-	182	11.3	464	583,564	-

(3) 従業者規模別（表6～9）

卸売業を従業者規模別に見ると、事業所数は5～9人規模が2,836事業所（構成比29.2%）と最も多く以下、3～4人規模2,328事業所（同24.0%）、2人以下規模2,160事業所（同22.2%）、10～19人規模1,512事業所（同15.6%）の順であり、19人以下規模で全体の91.0%を占めている。

増減率を見ると、100人以上規模で大きく減少している（△31.6%）。

表6 卸売業の従業者規模別事業所数

従業者規模	事業所数			増減率
	14年	16年		
		構成比	増減率	
合計	9,799	9,712	100.0	△ 0.9
2人以下	2,144	2,160	22.2	0.7
3～4人	2,323	2,328	24.0	0.2
5～9人	2,854	2,836	29.2	△ 0.6
10～19人	1,617	1,512	15.6	△ 6.5
20～29人	387	438	4.5	13.2
30～49人	288	270	2.8	△ 6.3
50～99人	129	129	1.3	0.0
100人以上	57	39	0.4	△ 31.6

従業者数は、10～19人規模が2万44人（構成比23.1%）と最も多く、以下5～9人規模1万8684人（同21.5%）、20～29人規模1万238人（同11.8%）の順であった。

増減率で見ると、20～29人規模で大きく増加している（11.8%）。

表7 卸売業の従業者規模別従業者数

従業者規模	従業者数			増減率
	14年	16年		
		構成比	増減率	
合計	人	人	%	%
合計	90,447	86,720	100.0	△ 4.1
2人以下	3,708	3,714	4.3	0.2
3～4人	8,021	8,070	9.3	0.6
5～9人	18,796	18,684	21.5	△ 0.6
10～19人	21,608	20,044	23.1	△ 7.2
20～29人	9,154	10,238	11.8	11.8
30～49人	10,803	10,025	11.6	△ 7.2
50～99人	8,659	8,671	10.0	0.1
100人以上	9,698	7,274	8.4	△ 25.0

販売額は10～19人規模が1兆4,571億円(構成比23.7%)と最も多く、以下5～9人規模1兆1,422億円(同18.6%)、100人以上規模7,903億円(同12.8%)の順であった。

増減率で見ると、すべての規模で減少している。

表8 卸売業の従業者規模別販売額

従業者規模	販売額			増減率
	14年	16年		
		万円	構成比	
合計	660,703,017	615,478,622	100.0	△ 6.8
2人以下	16,493,605	15,076,065	2.4	△ 8.6
3～4人	36,673,978	35,524,990	5.8	△ 3.1
5～9人	118,414,028	114,222,726	18.6	△ 3.5
10～19人	165,977,812	145,706,342	23.7	△ 12.2
20～29人	73,603,661	71,654,544	11.6	△ 2.6
30～49人	79,305,065	77,326,774	12.6	△ 2.5
50～99人	78,068,023	76,935,245	12.5	△ 1.5
100人以上	92,166,845	79,031,936	12.8	△ 14.3

#### (4) 販売効率 (表9)

##### ア 1事業所当たりの販売額

卸売業の1事業所当たりの販売額は6億3,373万円で、前回調査と比べると4,053万円の減少(△6.0%)であった。

##### (ア) 業種別

卸売業の1事業所当たりの販売額を産業分類小分類別に見ると、鉱物・金属材料卸売業が11億402万円と最も多く、以下医薬品・化粧品等卸売業10億6,890万円、電気機械器具卸売業9億2,886万円の順であった。

これを増減率で見ると、増加したのは繊維品卸売業15.4%(1,019万円)、再生資源卸売業13.3%(1,947万円)等6業種であり、減少したのは一般機械器具卸売業△17.8%(△9,777万円)、食料飲料卸売業△16.3%(△1億5,238万円)等16業種であった。

##### (イ) 経営組織別

卸売業の1事業所当たりの販売額を法人と個人の別に見ると、法人は7億5,212万円、個人は3,797万円であった。

これを前回調査と比べると、法人は5,552万円の減少(△6.9%)、個人は126万円の減少(△3.2%)であった。

##### (ウ) 従業者規模別

卸売業の1事業所当たりの販売額に従業者規模別に見ると、100人以上規模が202億6,460万円と最も多く、以下50～99人規模59億6,397万円、30～49人規模28億6,395万円の順であった。

これを増減率で見ると、増加したのは100人以上以上規模、30～49人規模であり、減少したのは20～29人規模等の6区分であった。

##### イ 従業者1人当たりの販売額

卸売業の従業者1人当たりの販売額は7,097万円であった。

##### (ア) 業種別

卸売業の従業者1人当たりの販売額を産業分類小分類別に見ると、鉱物・金属材料卸売業が1億706万円と最も多く、以下自動車卸売業9,976万円、医薬品・化粧品卸売業8,844万円の順であった。

##### (イ) 経営組織別

卸売業の従業者1人当たりの販売額を法人と個人の別に見ると、法人は7,417万円、個人は1,340万円であった。

##### (ウ) 従業者規模別

卸売業の従業者1人当たりの販売額に従業者規模別に見ると、100人以上規模が1億865万円と最も多く、以下50～99人規模8,873万円、30～49人規模7,713万円の順であった。

表9 卸売業の産業分類別販売効率

	1事業所当たり販売額			従業者1人当たり販売額	
	14年	16年	増減率	14年	16年
	万円	万円	%	万円	万円
卸売業平均	67,426	63,373	△ 6.0	7,673	7,097
49 各種商品	39,005	40,301	3.3	3,948	4,716
50 繊維品・衣服等	22,109	21,547	△ 2.5	4,100	3,548
501 繊維品	6,606	7,625	15.4	2,027	2,279
502 衣服・身の回り品	23,626	22,929	△ 2.9	4,218	3,615
51 食料品	83,756	75,421	△ 10.0	8,771	7,359
511 農畜産物・水産物	75,939	73,203	△ 3.6	8,480	7,609
512 食料・飲料	93,449	78,211	△ 16.3	9,086	7,086
52 建築材料, 鉱物・金属材料	54,862	53,999	△ 1.6	7,082	7,320
521 建築材料	45,742	42,790	△ 6.5	6,529	6,463
522 化学製品	53,736	57,093	6.2	7,096	8,160
523 鉱物・金属材料	110,773	110,402	△ 0.3	10,008	10,706
524 再生資源	14,648	16,595	13.3	2,225	2,384
53 機械器具	76,217	69,761	△ 8.5	7,988	7,462
531 一般機械器具	54,905	45,128	△ 17.8	6,337	5,378
532 自動車	84,715	91,188	7.6	8,566	9,976
533 電気機械器具	109,055	92,886	△ 14.8	9,610	8,109
539 その他の機械器具	51,621	47,558	△ 7.9	6,772	5,795
54 その他の卸売業	59,340	58,624	△ 1.2	6,718	6,423
541 家具・建具・じゅう器等	34,293	31,521	△ 8.1	4,923	4,465
542 医薬品・化粧品等	101,842	106,890	5.0	8,321	8,844
543 他に分類されない卸売業	50,203	47,710	△ 5.0	6,236	5,548
法人	80,764	75,212	△ 6.9	8,030	7,417
個人	3,923	3,797	△ 3.2	1,431	1,340
2人以下	7,693	6,980	△ 9.3	4,451	4,059
3～4人	15,787	15,260	△ 3.3	4,636	4,402
5～9人	41,491	40,276	△ 2.9	6,486	6,113
10～19人	102,646	96,367	△ 6.1	8,005	7,269
20～29人	190,190	163,595	△ 14.0	8,474	6,999
30～49人	275,365	286,395	4.0	8,055	7,713
50～99人	605,178	596,397	△ 1.5	9,892	8,873
100人以上	1,616,962	2,026,460	25.3	10,152	10,865

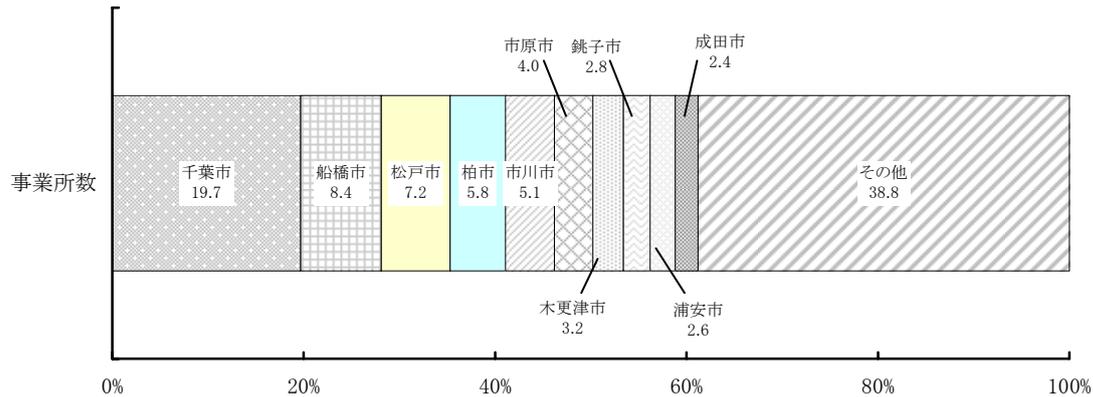
注) 平成14年の「従業者1人当たり販売額」の従業者数は、「パート・アルバイト等」の従業者について8時間換算(平成14年より調査)したものをを用いて算出している。このため、前回との比較は行わない。

(5) 市町村別(図9～11)

卸売業を市町村別に見ると、事業所数は千葉市が1,918事業所(構成比19.7%)と最も多く、以下船橋市811事業所(同8.4%)、松戸市697事業所(同7.2%)、柏市565事業所(同5.8%)の順であった。

これを増減率で見ると、増加したのは栗源町100.0%(3事業所)、芝山町80.0%(8事業所)等37市町村であり、減少したのは蓮沼村△66.7%(△8事業所)、富山町△38.5%(△5事業所)等38市町村であった。

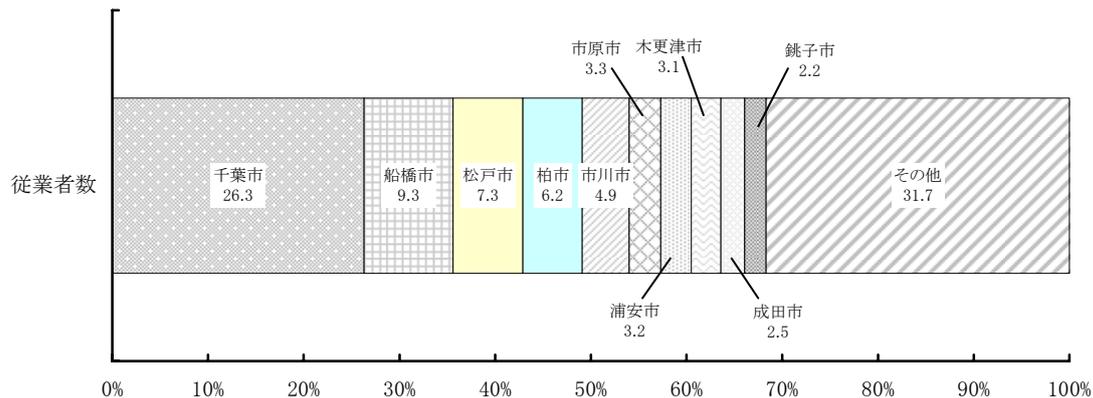
図9 卸売業事業所数の市町村別構成比



従業者数は千葉市が2万2,815人(構成比26.3%)と最も多く、以下船橋市8,051人(同9.3%)、松戸市6,335人(同7.3%)、柏市5,379人(同6.2%)の順であった。

これを増減率で見ると、増加したのは栗源町325.0%(13人)、栄町139.6%(328人)等31市町村であり、減少したのは酒々井町△46.7%(△50人)、下総町△39.2%(△20人)等48市町村であった。

図10 卸売業従業者数の市町村別構成比



販売額は千葉市が2兆3,281億円(構成比37.8%)と最も多く、以下船橋市5,794億円(同9.4%)、柏市4,142億円(同6.7%)、松戸市4,127億円(同6.7%)の順であった。

これを増減率で見ると、増加したのは栗源町305.5%(9億円)、芝山町208.7%(57億円)等30市町村であり、減少したのは酒々井町△60.8%(△19億円)、和田町△57.3%(△6億円)等49市町村であった。

図11 卸売業販売額の市町村別構成比

